

INTERVIEW

TAAサロン

あの人にきく



コムエクスポジウム・ジャパン(株)
代表取締役社長

古市 優子さん

慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、サイバーエージェントを経て2013年よりdmg::events(現コムエクスポジウム・ジャパン)に入社、2019年に代表取締役社長に就任。欧州大手イベントオーガナイザーComexposium Groupにおける日本代表となる。グローバルを強みにad::tech tokyoをはじめとしたマーケティング・広告・コマース・デジタル領域のカンファレンスの企画運営を指揮、日本の組織や社会におけるダイバーシティ&インクルージョンの推進に向けて、各種講演やアドバイザー業務など活動中。趣味は旅行。

東京 広告 協会報

2022
VOL.
127

TOKYO ADVERTISING ASSOCIATION (TAA)

発行 公益社団法人東京広告協会
東京都中央区銀座7丁目4番17号 電通銀座ビル7階
TEL.03(3569)3566 FAX.03(3572)5733
E-mail info@tokyo-ad.or.jp

<http://www.tokyo-ad.or.jp>

アドテック東京で社会課題への取り組みも実証。

インターネットからリアルへ

……大学卒業後はサイバーエージェントに。その後、現在のコムエクスポジウム・ジャパンにご入社されたのですね。

もともとインターネットが大好きで、仕事でも関わりたいと思う気持ちが強く、サイバーエージェントを志望しました。誰よりも働くと心に決めて、一番大変な(忙しい)部署はどこですか、と聞いてその部署を希望し、配属されました。一番大変なところイコール伸びている市場ですから、そこに行きたかった。無理ができるのも20代のうちだろうと思っていましたし。

約2年半のサイバーエージェント勤務を経て、今の会社に入りました。フランス資本のイベント会社で、主に広告やマーケティング分野のビジネスイベントを主催しています。私は昔から人とのリアルなつながりが好きで、思い返せば高校生の時も文化祭の実行委員長を務めたことがありました。今の会社で仕事をしながら、自分は人と一緒に場を作り上げ、盛り上げることが好きなんだということを改めて実感しています。そんな私のことを“すごく社交的”といってください

方々がいらっしゃるのですが、じつはそうではないんですよ。コミュニティを作るのは好きだけれど、私はあくまで幹事が好きなのであって、お呼ばれする集まりやパーティは苦手です。人選も予約も、すべて自分で決めて、把握したいのです。自分主催であれば、自分が選んだ参加者の皆さんのプロフィールを事前に予習できるので、現場での会話がしやすくなります。そういう理由で、幹事が大好きです。

……2019年には代表取締役社長に。女性活躍のフロントランナーとして走り続けていらっしゃいますね。

最初にお話をいただいたときは無理だと思って、お断りしました。でも、前社長から「これからは女性も普通に上(の立場)になって、年齢も関係ない。そんな時代がすぐに来る。その方が面白いじゃん」といわれて、その気になりました(笑)。今でこそ世の中に女性経営者が認知されてきていますが、3年前にはまだそれほどではなかったので、周囲の最初のリアクションとしては、“本当に大丈夫なの?”という雰囲気でした。でも、決断した以上は頑張るだけです。

コロナの影響でイベントが延期に

……これまでのお仕事で印象深いものは、どんなものがありますか？

2020年の3月、予定していたイベントを新型コロナウイルスの影響で延期にしたのですが、この時の“予定していたものが不可抗力で全部なくなる”という経験は、生まれて初めてのことでした。そのイベントは3月の頭、2泊3日で業界の方々が沖縄のホテルに集まる合宿型のカンファレンスで、2月の中旬になっても私たちは開催する気満々で、参加者の方々に“感染対策を徹底した上でイベントを予定通り開催します”という案内を出していました。

ところが2月20日に、厚生労働省がついにイベント主催者に向けて声明を出しました。これはまずいぞ、流れが変わるなと思いました。そして、その翌日に、本社や会場のホテル、多くの関係者と必死の協議を行って、イベントの延期を決定。参加予定の方々や各社に電話やメールで状況の説明をしました。厚生労働省からの通達は無理要請ではないとはいえ、企業の方針で不参加者も出てくると思われ、そのような状況で無理やり開催するよりも、参加者の皆さんの安全とイベント本来のクオリティを優先しよう、という思いで決断したことでした。あの時にあのような素早い判断ができたおかげで、その後も度々、コロナに振り回されながらも、けっこう早急に「はい、延期、はい、中止」という判断を打てるようになり、一つのターニングポイントとしては良かったと思っています。

そして、その時に延期した沖縄でのカンファレンスを、じつは昨年11月に開催することができたのです。延期、延期を4回ほど繰り返した挙句の実現で、意外なおまけも付いていました。約300人の参加者の方々の大半は東京から飛行機で沖縄に行くのですが、コロナで飛行機の機体が余っているという話を聞き、それなら貸し切りジェットにして、機内からイベントを始めてはどうだろう、と思ったのです。問い合わせてみると、想像以上にお値打ちな、大きなモニター付きの国際便が空いている、さらに、プライベート飛行だといつもは成田発だけれど、コロナで羽田が空いているので羽田発にできる、というではありませんか。それで、貸し切りにすることを決定。羽田から沖縄までのフライト中にモニターに映像を映したり、キャビン・アテンダント用のマイクを使ってパネルディスカッションを

したりと、なかなか有意義な時間になりました。それはコロナ禍で困っている航空会社とイベント会社のコラボレーションがないと実現できなかったことであり、とても思い出深いものになりました。

また、もともとデジタル系が得意でチームが若いということもあって、オンラインへの切り替えは早くできたと思います。その結果、オンラインイベント関連の仕事を早いうちからいただけるようになって、コロナの最初の年もギリギリで赤字を回避できました。

アドテックでSDGsを実践

……アドテックを手がけるようになってから、新たに工夫した取り組みなどはありますか？

アドテックは業界の方には大半、すでに知っているイベントなので、以前からさまざまなことに新しく挑戦できる土壤があると思っていました。具体的には、アドテックの場で社会課題にどんどんチャレンジしていきたいという思いをもっています。

たとえば、政府は女性管理職3割といいましたが、正直、企業が女性管理職を3割にするのはとても大変なことだと思います。でも、イベントの登壇者240人の3割を女性にするのは、役員ほどは大変ではないかも、と思いました。4年前のアドテックでは数えてみたら女性登壇者は6パーセント。これはまずいと、知り合いや関係者に片っ端から連絡してご紹介していただき、初年度は3割には達しなかったものの、60人近くを実現することができました。その動きを見てくださった方たちが、その後、部下や先輩の女性たちをどんどん紹介して下さるいいサイクルが生まれてきて、ダイバーシティに取り組んでいるというご評価をいただいています。また、会場で配るペットボトルの制限なども徐々に行っています。世の中を一気に変えるのは大変ですが、小さなイベントの中では、挑戦できる幅は広がるし、発信源にもなる。そこはけっこう意識して、大変だけど頑張ればなんとかできるかなという思いでさまざまな社会課題に取り組み、実証していきたいと思っています。

(インタビュー・文 牧野容子)

第70回全日本広告連盟沖縄大会開く



石嶺伝一郎沖縄大会会長



大平明全広連理事長

第70回全日本広告連盟沖縄大会(主催:同大会組織委員会、(公社)全日本広告連盟)が、大会テーマ『広告で未来を明るく!ようこそ南の島の広告祭へ』のもと、5月19日、沖縄市の沖縄アリーナで開かれた。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、現地参加者は各地広告協会からの代表者に限定して開催。オンラインでのライブ配信も行い、現地185名、オンライン501名の計686名が参加した。東京広告協会からは現地、オンライン含め計148名が参加した。

大会は、オープニングゲストの喜友名諒氏(2020東京五輪金メダリスト)らの沖縄劉衛流団体形チームによる空手演武で幕を明け、続いて、木村達郎氏(沖縄バスケットボール(株)/琉球ゴールデンキングス代表取締役社長)の記念講演が「地域におけるスポーツビジネスの可能性」の演題で行われた。木村氏は自身の沖縄での経験をもとに「スポーツには地域を元気にする大きな可能性がある皆さんの力で全国各地でも沖縄のように地域を盛り上げてほしい」と語った。



木村達郎氏

午後より大会式典が開演。オープニングアトラクションでは琉球國祭り太鼓が創作エイサーを披露した。

石嶺伝一郎全広連沖縄大会会長が、「沖縄の地でこれからの広告の姿を語り合うことで未来を切り開ききっかけにしたい。本土復帰50年の年に新たなスタートを切る催しが沖縄で開かれることは感慨深い。」と歓迎挨拶を述べた。

続いて、大平明全広連理事長が、「新型コロナは社会活動に大きな影響を及ぼしているが、課題を明確にした上で知恵を共有化し、沖縄の地から未来を見据えた前向きなメッセージを発信したい。全広連は、『広告の元気は、

ニッポンの元気。』のスローガンの下、地域から日本を元気にしてまいりたい」と大会挨拶を行った。

来賓の玉城デニー沖縄県知事、桑江朝千夫沖縄市長がそれぞれ祝辞を述べた。

「第10回全広連日本宣伝賞」各賞の贈賞式では、「松下賞」が伊藤雅俊氏(味の素(株)執行役)、「正力賞」が小山薫堂氏(放送作家、脚本家、京都芸術大学副学長)、「吉田賞」が嶋村和恵氏(早稲田大学商学学術院教授、日本広告学会会長)、「山名賞」が杉山恒太郎氏(クリエイティブディレクター)へ贈られ、各受賞者が謝辞を述べた。ご欠席の伊藤雅俊氏の謝辞を片上崇氏(味の素(株)理事 広告部長)が代読した。

「第1回鈴木三郎助全広連地域広告大賞」の「最優秀賞/チャレンジ部門賞」は、輝け!みんなの九州プロジェクトの「流れ星新幹線」(福岡広告協会推薦)に贈られ、プロジェクトを代表して青柳俊彦氏(九州旅客鉄道(株)代表取締役会長執行役員)が謝辞を述べた。「同優秀賞/フィルム・オーディオ部門賞」は、長崎県南島原市の「突撃!南島原情報局【神回】」(長崎広告協会推薦)、「同選考委員会特別賞/キャンペーン部門賞」は、岩手日報社、協賛延べ843社による「3月11日「県民の日」制定プロジェクト」(岩手広告協会推薦)、「プリント部門賞」は、青森県による「#縄文式ビリビリ健康法」(青森広告協会推薦)に贈られた。

その後、『「沖縄返還50年と広告を振り返る」オキナワが向かう明るい未来～広告・エンタメに観る復帰前後イメージの変遷～』をテーマにトークセッションが行われた。本土復帰50年の歴史と広告やエンターテインメント・文化の変遷をまとめた映像を見ながら、お笑いコンビ・ガレッジセール(ゴリ氏と川田氏)、元ボクシング世界王者の具志堅用高氏、うちな～断家の志いさ一氏が沖縄の歩みを振り返った。



トークセッションの様子

来年5月の第71回全広連金沢大会に向けて温井伸金沢大会会長が参加を呼びかけた後、石嶺沖縄大会会長から温井氏へ金沢大会の成功を祈念してシーサーが贈られ、式典は閉会となった。

【広告未来塾】第5期終了

「広告未来塾」第5期が、木村健太郎氏(株)博報堂執行役員クリエイティブコンサルティング局局长、(株)博報堂ケトルファウンダーECD)を塾長に迎え、テーマ「広告の新しい手口を構想しよう。」のもと、2022年3月から開催され、5月25日に全7回のカリキュラムを終了した。実開催

とオンライン配信を併用し、計67名が参加した。

受講生からは、「全ての講義が興味深く、広告という意識が変化した。市場や顧客に対し、様々な視点からアプローチ・分析する事により、思わぬ答えを得ることができた事を実感した」という声が寄せられた。

令和4年度実践広告スキルアップセミナーご案内

実践広告スキルアップセミナーを以下の通り、実開催とアーカイブ配信で実施している。お申込み・詳細は東京広告協会ホームページまで。

会場	日比谷図書文化館 B1 日比谷コンベンションホール (大ホール)		
テーマ・講師(敬称略・順不同)			
Day1	6/29(水)終了 アーカイブ7/19(火)~7/29(金)	「私たちは何のために働くのか?」 村田諒太(元WBA世界ミドル級スーパー王者/ロンドン五輪ボクシングミドル級金メダリスト) 聞き手:二宮寿朗(スポーツライター)	
Day2	7/6(水)13-14時30分 アーカイブ7/26(火)~8/5(金)	「ビジネスインパクト創出のための、宣伝・マーケティングチームのアカウンタビリティ!」(仮) 菅野勇太(LIFULL)、片山義丈(ダイキン工業) 聞き手:安成蓉子(翔泳社)	
Day3	7/13(水)13-14時 アーカイブ8/2(火)~8/12(金)	「いま、広告クリエイティブは何をつくるべきか?」(仮) 佐々木康晴(電通)、細田高広(TBWA\HAKUHODO)、大塚智(ADKマーケティング・ソリューションズ)	
Day4	7/20(水)13-14時 アーカイブ8/9(火)~8/19(金)	「失敗・苦悩を乗り越えてプロジェクトを進めたリーダーの話が聞きたいードバイ万博の場合」 内藤純(電通ライブ)、永友貴之(電通)	
受講料	【当日参加】1日のみ…会社員3,000円 一般4,500円 学生1,500円 【アーカイブ】4日通し…会社員6,000円 一般9,000円/1日のみ…会社員2,000円 一般3,000円 学生1,000円		

インフォメーション

事務局長・常務理事交代

東京広告協会事務局長が4/27付、常務理事が6/24付で中井良博氏から東末吉史氏へ交代した。

総会・理事会・委員会開催報告と今後の開催スケジュール

4月11日(月) 業務委員会	6月10日(金) 法務政策委員会	9月14日(水) 業務委員会
4月12日(火) 法務政策委員会	6月15日(水) 業務委員会	9月15日(木) 広報委員会
4月14日(木) 広報委員会	6月16日(木) 広報委員会	9月16日(金) 法務政策委員会
4月20日(水) 総務委員会	6月20日(月) 総務委員会	9月21日(水) 総務委員会
4月27日(水) 定例理事会	6月24日(金) 臨時総会、定例理事会	9月29日(木) 臨時総会、定例理事会

新理事 (敬称略、順不同)

6月24日開催の臨時総会において、理事6名の選任が異議なく承認された。

大塚 宗太郎	キリンビール(株) マーケティング部企画担当主幹
相原 大輔	大正製薬(株) マーケティング本部メディア推進部副部長
阿部 敬人	三菱電機(株) 執行役員宣伝部長
神戸 久	(株)朝日新聞社 執行役員メディアビジネス担当
小野 剛	(株)毎日新聞社 執行役員営業担当営業総本部長
東末 吉史	(公社)東京広告協会 事務局長

● お願い ●
人事異動などによる会員の交代や役職の変更等が生じ、「東京広告協会報」の発送先が変更になった場合は東京広告協会事務局へご連絡をお願いします。